

世界ヒバクシャ展@京都 世界遺産と人類の“記憶遺産”のコラボ

8月6日から開催 金閣寺・銀閣寺とのコラボからヒバクシャの旅スタート

NPO 法人世界ヒバクシャ展は、広島、長崎の被爆者の写真を40年以上にわたって撮り続けた写真家の森下一徹が、世界のヒバクシャを撮り続けてきた写真家に呼びかけて、2002年に設立されました。広島、長崎、チェルノブイリや各地の核実験場、ウラン採掘現場など世界各地のヒバクシャは、人類が生み出した愚かな現実の最大の証人です。その体験と証言を写真で伝え、核兵器も原発もない世界を目指す運動の輪を広げることを目指して、6人の写真家の写真展が国内外で開催されてきました。

2015年の戦後・被爆70周年に向けて、この活動を発展させ、世界の人々の核被害への関心を高め、核のない世界を目指すために、国内や海外の世界遺産と、人類の“記憶遺産”とも言える世界ヒバクシャ展とのコラボイベントを展開します。守り続けるべきものの象徴としての世界遺産との対比から、ヒバクシャを二度と生み出してはいけないことを明確に認識してもらうのが、その狙いです。

その最初のステップとして、相国寺承天閣美術館、金閣寺、銀閣寺、京都仏教会などの参加の下、第二次大戦の際に、**米軍による原爆投下の候補地ともなった京都**で世界ヒバクシャ展を開催します。そして、核のない世界を実現し、世界遺産だけでなく地球そのものを守りましょうというメッセージを、仏教界から世界に発信していきます。そして、世界を巡るヒバクシャ(写真)の旅が始まります。

開催日時 2013年8月6日(火)～9月8日(日) 月曜休み

午前10時～午後5時(ただし入館は午後4時30分まで。初日は午後1時開場)

場所 相国寺承天閣美術館 京都市上京区今出川通烏丸東入 TEL 075-241-0423

主催 世界ヒバクシャ展@京都実行委員会(実行委員長・有馬頼底京都仏教会理事長)

構成団体 相国寺承天閣美術館、金閣寺、慈照寺(銀閣寺)

京都仏教会、NPO 法人世界ヒバクシャ展、他

後援(予定) 京都府、京都市

入場料 無料(寄付の呼びかけをします。承天閣展示品の鑑賞は有料=800円)

内容 ・6人の日本人写真家(伊藤孝司・桐生広人・豊崎博光・本橋成一・森下一徹・森住卓)が撮影した世界各地のヒバクシャや核汚染を伝える写真(福島第一原発関連の写真を含む)100点余を展示する予定です。

※金閣寺・銀閣寺にヒバクシャの写真パネルを置いて撮影したコラボ写真を、広報などに活用します。写真は、京都の風景写真の第一人者、水野克比古氏が撮影します。この写真を使ったポスターが6月中旬くらいに完成する予定です。世界遺産とヒバクシャとのコラボ写真は、今後、各地の世界遺産でも撮影していく予定です。

※世界ヒバクシャ展に関する詳細はWEB(<http://www.no-more-hibakusha.net/>)をご覧ください。

ご連絡先 NPO 法人世界ヒバクシャ展(東京都目黒区中根 1-6-7-603)

携帯 080-3558-3369(安在) メール hibakushaten@gmail.com